

自由民主党における 政治資金分配の決定要因

拓殖大学 政経学部4年 法律政治学科
財田 裕斗

リサーチクエスチョン

自民党執行部から自民党支部への
政治資金分配額を決める要因は何か。

自民党の収入

- ・ 党費
- ・ 寄附(個人・法人・政治団体)
- ・ 事業収入
- ・ 借入金・・・銀行からの借入金
- ・ 政党交付金・・・総務省による「議員数割」と「得票数割」に基づく分配

資金分配

```
graph TD; A[自由民主党執行部] --> B[政党支部]; A --> C[政党支部]; A --> D[政党支部];
```

- ・ 裁量権は党執行部がもつ (幹事長)
- ・ 分配先は全国の自民党支部 (300支部)

先行研究①

土居丈朗・芦谷政浩 (1997)
『国庫支出金分配と政権与党の関係』
「与党の政権維持の危機が補助金分配に影響する」
⇒野党と激しく競合する県に多くの補助金を分配している (地方議会)

- ・ 問題点
- 1. 明確な理論なし
- 2. 補助金は国庫支出金のみしか考慮していない

先行研究②

広瀬道貞 (1993)
『補助金と政権与党』
「自由民主党は補助金を組織強化・票固めに結び付けて長期政権を維持した」

- ・ 問題点
- 1. 中選挙区制下で書かれており、現行制度下でも当てはまるか否か定かではない
- 2. 計量的な分析は行われていない

理論と仮説

理論
政党は議席数最大化の為に行動する。(斉藤2010)

仮説
衆議院議員選挙で小選挙区における自民党候補者の
惜敗率が高いほど、
自民党執行部から自民党支部への
年間交付金額は多くなる。

惜敗率

A区



圧勝

B区



C区



D区



大敗



選挙結果と交付金額の時系列例

2005年の選挙結果

2006～2008年の交付金額

2009年の選挙結果

2010～2012年の交付金額

分析モデル

2009年

惜敗率

当選回数

総裁派閥

幹事長派閥

+

-

+

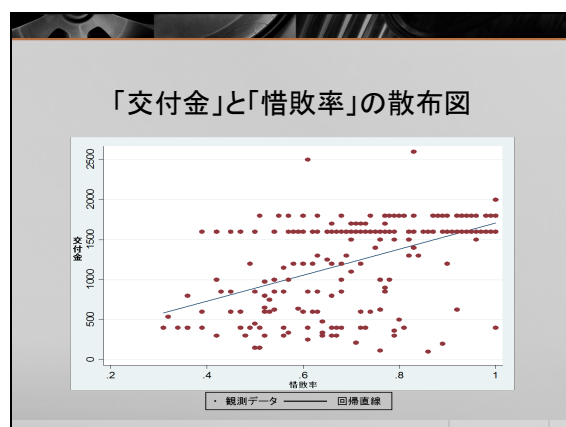
+

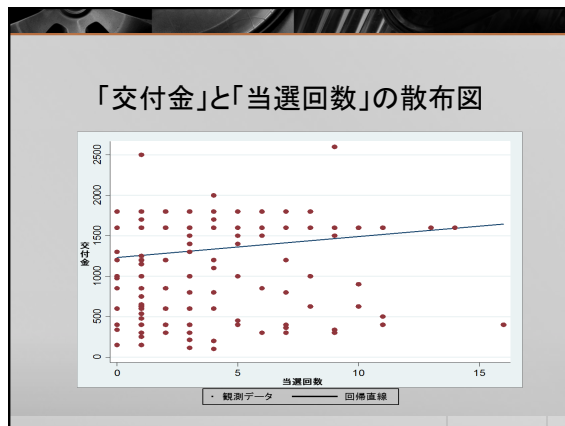
自民党支部への
2年間(2010・2011)
の交付金

記述統計

変数名	平均	標準偏差	最小値	最大値
交付金(万円)	1324.77	543.75	100	2600
惜敗率(%)	76	77	31	100
当選回数(回)	3.6	3.05	0	16
総裁派閥	0.07	0.25	0	1
幹事長派閥	0.06	0.24	0	1

(N=275)





分析結果

独立変数	予想	結果	P値	Beta値
借敗率	+	1854.42***	0.00	0.65
当選回数	-	-37.23***	0.00	0.21
総裁派閥	+	127.24	0.25	0.06
幹事長派閥	+	117.46	0.31	0.05
観測数		275		
Prob>F		0.00		
補正R ²		0.35		

有意水準：***p<.01 **p<.05 *p<.1

結論

- ・「借敗率」が1%増加すると「交付金」が2年間で約1850万円増加する。
- ・「当選回数」が1回増加すると「交付金」が2年間で約38万円増加する。
- ・「総裁派閥」「幹事長派閥」は共に「交付金」への影響は与えていない。